

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■ 熊本地方の地震

4月14日の夜に発生した熊本地方の地震が長引いています。

5年前の東日本大震災で経験済みとはいえ、大自然の脅威は本当に怖いものです。被災地支援のため、行政レベルでは、地震発生の翌日から消防等が既に現地に駆け付けていますが、近くみなさん方にも、各市長が地区長になっている日本赤十字社等を通じて被災地に送る義援金をお願いすることになると思います。その節は、どうぞよろしくお願いいたします。

それにしても、今回の地震、しつこいですね。今日は4月20日。昨日も震度5を超える地震が2度もありました。

■ 子育て世代を応援します

● 子育てコンシェルジュ

お分かりでしょうか。

「子どものことは何でもお尋ねください。私がお案内します。」

このようなポストが昨年12月、こども福祉課に新設され、もと幼稚園長だった女性が初代の「子育てコンシェルジュ」に就任しました。既に多忙な日々ようです。でも、ちょっとオシャレな名称ですね。

● ココシエ

次いで、「子育て世代包括支援センター」を「ココシエ」と呼称することになりました。子どもの「コ」、子育ての「コ」、そして支援センターの「シエ」をとって「ココシエ」!

「やり過ぎよ」という批判が出ると思いきや、

これがまた大変好評なのです。時代はどんどん変わっていますね。

ちなみに、本市の小学校入学前の乳幼児医療費は、今年の8月から、親の所得の額に関わらず完全無料となりますので、念のため。

■ 大学の薬学部

4月20日、学校法人東京理科大学（東京）の本山理事長とお会いし、公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の薬学部開設の件について、一昨年12月26日に学校法人東京理科大学と本市が交わした基本協定書の趣旨を尊重し、薬学部の開設（平成30年）1年前の来年の3月末日までに、文部科学省に提出する薬学部開設に必要な教員30名のリストを公立大学側に提供する旨の再確認をいただきました。

あとは、地元の建設業者の力で、薬学部の校舎・研究室等が期限（平成30年春）までに完成するかどうかにかかってきました。いよいよ薬学部の実現も間近になってきました。

